

# 公共交通空白地解消に向けたデマンドバス運行（内子町）

## 【取組概要】

町営バスの運行方式をデマンド方式に移行。集落内の狭小な道路幅員でも運行を可能とするため、車両を小型化し、より自宅付近での乗降を可能とするとともに、既存の運行ルートではカバーできなかった交通空白地域も解消。

人口 18,491人  
担当部署 総務課

## 【取組みの効果】

町営バス(2路線)をモデル地区としデマンドバス方式に移行したことにより、平均乗車率が改善。町営バス全体の運行経費も民間委託の推進により赤字額が徐々に減少。住民からも自宅付近から乗降できるようになり利用しやすくなったとの声もある。



デマンドバス(10人乗り)

## 【他団体へのアドバイス】

自宅近くで利用が可能となったが、運行距離が延びるため、高齢者にとっては乗車時間が苦痛にならないよう行きと帰りのルートを変えて公平性を保つ工夫を実施。高齢者が容易に予約できる工夫も必要。

## 【創意・工夫した点】

一定の制約はあるが、運行予定地域内の住民協議によって運行曜日・時刻を決定することで、「地域のバス」意識を啓発。経営実態等を説明し、改善の必要性を唱え、行政の一方的な改正案とならないよう見直し。



利用者が希望する場所で乗降可能